

## 「人生のやる気デザイン」研究部会（第10回）

日時：2021年2月8日（木）13：00～15：30

場所：オンライン（Zoom使用）

出席：渡辺弥生・榎本淳子・倉住友恵・杉本希映・中井大介・中谷素之 各兼任研究員  
吉久知延所長・金沢千秋・山口和人・泉水里香（野間教育研究所事務局）

内容：（1）渡辺研究員：「SEL(Social and Emotional Learning)に関する報告」

出典：<https://casel.org/wp-content/uploads/2020/07/SEL-ROADMAP.pdf> ほか

- ◆5つの尺度(表)：自己覚知、自己マネジメント、責任ある意思決定、対人関係スキル、社会的覚知
- ◆4つのフォーカスエリア(表)：サポート構築、大人のSEL強化、生徒へのSEL推進、継続的改善の実践
- ◆教師のためのアセスメント・ツール
- ◆社会的覚知の発達：就学前、小学校、中学校、高校
- ◆フレームワークからアセスメントまで：フレームワーク、標準、教示、アセスメント

（2）榎本研究員：「病気の不確かさの中で生きていくということ」

- ◆Illness Uncertainty：病気の不確かさ：Mishel(1981, 1988, 1990)
- ◆定義：The inability to determine the meaning of illness-related events  
(Mishel, 1988)：病気に関する出来事（認知的枠組み）の意味を決定することが出来ないこと（石井, 2014）
- ◆概念的枠組み(表)：不確かさの内容、不確かさを生じさせる要因、不確かさの評価、不確かさのコピーング、病気への適応
- ◆Illness Uncertaintyの研究・調査：
  1. Moreland P, et al. (2018). Illness Uncertainty and Posttraumatic Stress in Young Adults With Congenital Heart Disease. *Journal of Cardiovascular Nursing*, 33 (4), 356 -362.
  2. Schiele, S. E., et al. (2019). The role of illness uncertainty in the relationship between disease knowledge and patient-reported outcomes among adults and adolescents with congenital heart disease. *Heart & Lung*, 48, 325 -330.

（3）倉住研究員：「『オリジナル人生ゲーム』作成が受講生に及ぼす影響 結果発表」

- ◆問題意識：「オリジナル人生ゲーム」作成は学生の未来展望に広がりを持たせるか
- ◆方法：調査協力者、実施期間、介入内容、使用尺度
- ◆結果と考察：信頼性の検討、介入効果の検討、未来展望得点の伸びの検討（事前事後）、オリジナル人生ゲームの成績、成績を考慮したうえでの介入効果の検討、成績高群における人生ゲーム評価と未来展望の伸びの関連、自由記述検討
- ◆本研究の問題点、今後の改良点、研究計画